



佐藤京一議員

公共施設耐震化スケジュールの見直しは

町長 役場庁舎など町民の理解を得て優先順位を再検討

■東日本大震災を経ての反省と課題は

【佐藤】 東日本大震災は、想定外の津波や原発事故によって甚大な被害をもたらした。

今回の大地震や長時間停電の対応における反省点や課題、想定見直しなどをどうとらえているか伺います。

【町長】 今回の大震災から、高齢者の安全確保など避難体制の確立、役場庁舎や病院など行政機能の確保、災害情報の伝達システム整備や地域コミュニティの育成強化の三点を課題ととらえています。

また、原発事故に対する放射能汚染想定がないことから、国や県で防災基本計画の見直しに着手しており、准じて行っていく予定です。

■地域の自主防災組織で訓練を

【佐藤】 地域での自主防災組織確立に区単位に助成金を給付し、使途は防災関係と指定しただけです。有事における個々の行動

を浸透しておくための訓練を、町で指導にあたる考えはないですか。

【町長】 訓練の大切さは今回の震災時でも実証され、それぞれの地域の実情にあったやり方や内容などを地域の方々と相談しながら対応を検討していきます。

■公共施設耐震化の優先は

【佐藤】 中央公民館の耐震化は必須であり、図書館も現況ではリニューアルが必要です。

この度の大地震での教訓は、有事における役場機能の重要性和学校の安全安心であったと思います。

公共施設の新築や耐震化など、安全安心の優先順位を見直すべきと考えますがどうですか。

【町長】 危機管理における役場庁舎の重要性を学びました。まずは耐震診断を行い、役場庁舎や消防分署など公共施設全体のあり方を検討し、町民の理解を得て優先順位を変えていく必要があります。

【教育長】 小学校は耐震改修が終了し、東中学校の体育館は本年度実施予定です。

東西の中学校校舎の耐震性が低いとの耐震診断を踏まえて早急に対応する必要があります。

■史料館(展示室)の設置を

【佐藤】 町の歴史や文化の史料保存や集積展示・学習のための施設として、子どもたちに伝えていくためにも

史料館(展示室)は是非必要だと思えます。中央公民館リニューアルの一部として検討できませんか。

【教育長】 中央公民館リニューアル構想のなかで、二階に計画している展示室は、本町の季節別の風俗や習慣、時代別の生活の様子などを展示して学習できる場としても考えています。



全戸配布したもの
(仲町区自主防災本部発行)